



安全運転管理者が心がけたい健康管理

第8回

危険ないびきを放置しないで！

「プロドライバー」にはSAS検査を！

本連載の後半からは、SAS検査や健康管理面から、企業における交通安全対策のあり方を、運輸業界の取組みを紹介しながら進めていきたいと思います。

ちも、運転を職業とするプロドライバーさんです。そして、あまりにも当たり前ながら、数多くの悲惨な交通事故もすでに発生しています。

出されました。「決して患者さまを事故に遭わせてはならない」という思いからスタートされた対策ですが、荷物の場合でも基本的に同じですね。

さて本誌読者の皆さん、「睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査はトラック・バス・タクシーなど緑ナンバーを所有する会社だけが実施するもの」と思っておられないでしょうか？

数年前には高槻市のスイミングスクールのドライバー（65歳）が運転中に意識を消失し、死亡。その結果、バスが炎上し、子供たちなど10人が負傷するという重大事故が発生しています。

このように交通安全を使命とする「職業運転者」は「緑ナンバー」に限りません。プロドライバーには社会的責任があり、企業には管理責任が求められます。さらに高齢化の進展とともに、体力・判断力、運転技能の低下に加わり、体調不良を原因とした交通事故も急増傾向にあります。

実はそうではありません。それは、皆さんの会社にも多くの「プロドライバー」がおられるからです。

◆ある病院の事故対策 全国にグループ病院を持つ、ある医療法人では、病院の送迎バスによる交通事故が最近急増していることを受け、ドライバーレコーダーの整備と、ドライバー全員にSAS検査を受診させるというハード・ソフト両面の対策に乗り

ます。 全日本トラック協会では健康起因事故防止を目的としたマニユール（OCHISにて受託作成）を作成し、具体的な手法を示しています。

例えば、土木用や建設用資材の運搬、家具や電化製品の搬入、学校や病院の送迎などでバスやトラックなどの運転業務に携わる人た

ます。

ます。

睡眠時無呼吸症候群（SAS）のバルちゃん検査は自宅で簡単



『病院に行く時間がない』という方に朗報です！！

○法人価格：5000円（税込）
2名以上のお申し込みで、会社へのお届けになります。
○個人価格：8,640円（税込）

お申し込み・お問い合わせは

OCHIS NPO法人 ヘルスケアネットワーク（OCHIS）
sas@ochis-net.com http://sas.ochis-net.jp

◆大阪オフィス 大阪市東区東野田2-11-2 大阪南トラック協会会館1階
TEL:06-6763-3666 FAX:06-6763-5264

（公社）全日本トラック協会 SAS対策事業受託法人 （公社）日本バス協会 SAS対策事業受託法人

NPO法人 ヘルスケアネットワーク（OCHIS）

副理事長 作本 貞子

《安全と健康を推進する協議会（両輪会代表）》

居眠り運転と関連性の深い睡眠時無呼吸症候群（SAS）対策事業を日本でいち早く立ち上げ、全日本トラック協会や日本バス協会のSAS検査の指定機関として突出した実績を持つ。新聞各誌、テレビでも多く紹介され、安全・健康をテーマに全国的に講演活動を行う